

透視教育

透視教育は当直業務までに習得する検査と、健診に対応する胃透視の習得に大別して行います。両検査ともモダリティ責任者が管理を行い、教育担当者和共にスケジュールに沿って実施します。

当直必須業務：胃瘻交換・整復・ERCP・尿管ステット・イレウス管挿入など

● 習得期間 2カ月

《手順》

講義

- ・透視業務全般
- ・KYT

レポート

- ・概要、装置
- ・安全配慮、被ばく、薬品

見学

- ・見学
- ・検査レポート作成

実技

- ・チェックリストによる評価

検診胃透視：全モダリティ経験後 おおよそ3年目以降学習開始

● 習得期間 3～5カ月

《手順》

レポート

- ・概要、装置
- ・撮影手技、薬品

講義

- ・検査対応、安全配慮
- ・画像処理、被ばく

見学

- ・見学
- ・シミュレーション

実技

- ・チェックリストによる評価
- ・シエーマ作成